

河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

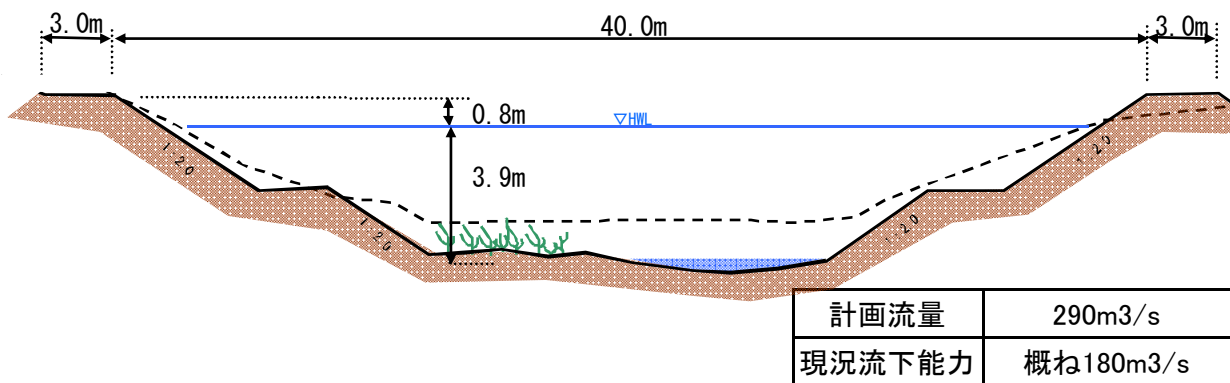
		番 号	103	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>ごきょうがわ</small> 五行川		事業箇所名	<small>もおかし</small> 真岡市、 <small>はがまち</small> 芳賀町
事業区間	<small>もおかし</small> 真岡市沖地先～ <small>はがまち</small> 芳賀町上延生地先		事業延長	20,400m
平成9年度事業化		平成9年度用地着手		平成9年度工事着手
事業期間	(H9～H38) H9～H38	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[45.8 (45.8) 億円] 131.4 (131.4) 億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[29.1 億円] 72.8 億円
事業概要				
<p>五行川は、さくら市に源を発し、高根沢町、芳賀町、真岡市を経て、茨城県で小貝川に合流する一級河川である。計画区間は、堤防が低く流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。そこで、河川断面の拡大並びに遊水地の整備を行うことにより、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
芳賀遊水地の沿川では、県営圃場整備事業（芳賀町北部地区、A=386.3ha）が実施中である。				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C=5.6	806.1億円	143.6億円	[L=20,400m 区間]
2) 残事業	B/C=12.2	551.8億円	45.3億円	[L=11,400m 区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
五行川本川について、事業延長20,400mのうち、下流端から ^{みはし} 御橋までの約9,000mの整備が完了している。当該計画区間の下流にて、二宮遊水地の右岸および左岸の一部の整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
河川工事で発生した土砂は、近接する他事業へ流用し、工事費の縮減を図っている。				
② 代替案立案等の可能性				
沿川は土地利用や開発が進んでいるため、川幅を広げることが困難な状況であり、河床の掘り下げ及び遊水地の整備を行う現行計画が最適である。				
事業の対応方針（案）		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図

